



山梨県理学療法士会会報誌

# SUPPORTERS

## サポーターズ

## No.123 2009 秋号

士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 556 名 施設数 96 (8月10日現在)



▲交流会 施設・新人紹介



▲新役員紹介



▲ロゴマーク表彰



▲スポーツ理学療法部



▲第1回学術研修会



▲交流会 食事風景

Contents

- 日本理学療法士協会賞受賞… 2
- 平成 21 年度交流会報告… 2
- 特集 平成 21 年度 新人理学療法士紹介… 3 ~ 6
- 各部活動報告… 7 ~ 8
- 管理事務局より 変更手続きについて… 8

- お知らせ… 9・12
- リレーエッセイ Part 5… 10 ~ 11
- 原稿募集… 11
- 編集後記… 12

「supporters(サポーターズ)」とは・・・

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

# 日本理学療法士協会賞受賞

石原正文 (イシハラ マサフミ) 先生 58歳

県士会活動では、副会長・事務局長・監事を長年勤められ、また、山梨県におけるスポーツ理学療法の先駆者となり、士会発展に大いに貢献されました。学術活動では、研究論文・学会発表は数多く、各学会の座長も務められ、その功績は多大であります。

(山梨大学医学部付属病院 リハビリテーション部)



## コメント

「協会賞受賞大変嬉しく思っております。

山梨に戻ってあつという間の26年でした。

谷村表彰委員長はじめ前執行部のご推薦のおかげと感謝しております。」

## 平成21年度交流会報告

「平成21年度山梨県理学療法士会交流会」を6月19日、ベルクラシック甲府にて開催しました。総勢247名(新入会員64名 参加施設31施設)という多くの方々に参加して頂き、大盛況の中で会を終えることが出来ました。新入会員の皆様にとっては、先輩方と交流を深める良い機会になったと思います。さらに、会員の皆様にとっても、64名の若いパワーを感じることができたのではないかと考えています。

また、施設・新人紹介では、それぞれの個性を生かした楽しい紹介があり、会を盛り上げて頂いたことを本当に感謝しています。

今後も県士会の活動を通して士会員の皆様の交流が深まると共に、さらにお互い研鑽し合いながら日々の臨床に向き合って頂けたらと思います。

多くのご参加、本当にありがとうございました。



総務部 高石みわ

# 各部 活動報告

## 社会局スポーツ理学療法部発

### ～第91回全国高等学校野球選手権大会に関わって～

今年もまた、高校球児の暑い夏がやってきました。

我々スポーツ理学療法部では、7月22日の準々決勝から26日決勝まで球場に入りトレーナーとして関わりました。甲子園大会を含め、この大会に関わる理学療法士は年々増えています。山梨県士会でも平成19年度から関わり今年で3回目となります。

私は準々決勝2日目の担当で、その日は4名の理学療法スタッフで対応しました。2試合とも県立高校vs私立高校の対戦で、大接戦の白熱した試合でした。試合も中盤が過ぎたころ、ある選手の脚がつり試合が中断しました。大会担当者に呼ばれてベンチ裏の控え室に行ったところ、選手がつかうような顔をしていました。昨年この大会で経験した熱痙攣のことが頭をよぎる中、普段のスポーツ理学療法部の研修やチーム活動で得た知識・技術を駆使して対応しました。持ち時間は約10分間。マイルドなストレッチとアイシング、またスポーツドリンクを飲ませて回復を図りました。症状も落ち着き、ポジションチェンジはしたものの試合復帰しました。もう一度脚がつるようならば退場



という中、ベンチ裏で待機していました。試合も無事経過し、そして最終回には正規ポジションで出場し勝利を飾りました。試合後、ベンチ裏選手控え室でその選手のフォローをしました。痛みや可動域、

タイトネス、その他フィジカルチェックをしたところ問題が出るは出るは…。これが現状かと思いました。選手にはできるだけベストの状態に試合に臨んでもらいたいと思っています。まだまだ若く将来のある選手たちです。外傷障害を起こしてからではなく、如何に予防していくかということチームや選手に対して教育していく必要性を強く感じました。



最後に、このようなチャンスの場を提供していただいている山梨県理学療法士会の先生方をはじめ、お忙しい中ご指導ご助言をしてくださっているスポーツ理学療法部部長、および平日休日問わず現場に出向きがんばっているスポーツ理学療法部部員の先生方に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

社会保険山梨病院 小林 幸一郎

●問い合わせ先：社会局スポーツPT部 小尾

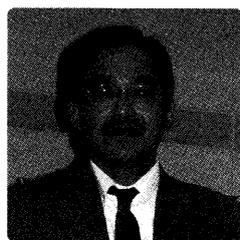
(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)



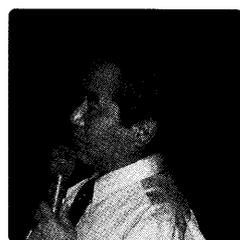
伊藤先生



北澤先生



橋田先生



小尾先生

平成21年、第1回学術研修会が3日間にわたり、石和スコレーセンターにて開催されました。今回は多くの参加者のもと(1日目183名、2日目125名、3日目152名)、イントロダクションとして「様々なテーマに対しての基礎知識」を学習させていただきました。

内容はとしては、SJF・AKA(博田法)・スポーツ理学療法・研究の基礎・呼吸理学療法・ボバースコンセプトと幅広く講義をして頂きました。「関節運動学に基づく基礎知識や関節・筋の機能を考慮したうえでの運動療」「研究を行うにあたっての手順や研究テーマ等の構成要素の出し方や方法、日々の業務の中での研テーマの見出し方」「呼吸理学療法の歴史、解剖学的な基礎知識と項目別手技」「中枢神経疾患患者に対しての評価と考え方」について、山梨県内で活躍されている先生方をお招きし、1時間程度の講義を行って頂きました。今回のイントロダクションによって各分野の基礎的な知識を学び、今後私たちが学習するにあたっての足がかりになるとも充実した研修会となりました。



石黒先生



山田先生



巨摩共立病院 和田 匠

- 問い合わせ先：学術局学術研修部 名取  
(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131)

事務  
管理局  
より

変更手続きについて

平成21年度より、事務管理局が異動しました。

会員データに変更(異動・休会・復会・退会)がありましたら、届出が必要となります。士会ホームページに、各種届出用紙があります。郵送にて、早急に手続きを行って頂きますようお願い致します。

- 問い合わせ先：事務管理局 局長 齋藤／総務部 高石／財務部 佐藤  
〒400-0831 甲府市上町 753-1  
TEL：055-241-5811 FAX：055-241-8660  
E-mail：yamanashi.pt.jimu@gmail.com(士会事務管理局専用アドレス)



## 生涯教育システム・専門理学療法士制度改訂

交流会（新人歓迎会）や研修部主催のイントロダクション研修会の際に、既にご報告させて頂いておりますが、来年度以降に生涯学習システム・専門理学療法士制度の改訂が行われます。現在、移行期間となっております。日本理学療法士協会、各県士会生涯学習担当者らに問い合わせなどが増えてきております。

今後も細かな規定は変更となる可能性があります。山梨県士会においては新人教育担当者会議などで決定された事に関しては、会員の皆様へ出来る限り早くお伝えしていきたいと考えています。現時点での状況は日本理学療法士協会ホームページをご参照下さい。

### ◆注意点◆

- ※ 新人教育プログラムを修了されていない方に関しては、今まで通り修了できるよう単位取得に励んで下さい。
- ※ 新人教育プログラム修了者は今後専門領域研究会へ所属することが義務づけされる可能性があります。また、専門理学療法士へのステップとして認定理学療法士制度が開始される方向で規定される可能性があります。一度、日本理学療法士協会のホームページをご参照下さい。
- ※ 基礎プログラムの単位更新については、様々な議論がされています。しかしながら、今後も学術集会や研修会などに参加された方は、自己研鑽の為に記録と手帳の管理が必要となります。

生涯学習手帳は今後も必要となりますので自己管理お願い致します。単位取得履歴など、手帳の管理については、県士会では責任を負いかねますのでよろしくお願い致します。

- 問い合わせ先 担当者：北山哲也・遠藤公士 山梨リハビリテーション病院 電話：0553-26-3030  
E-mail：ktetsu@eps4.comlink.ne.jp

## 平成21年度公開講座について

- 日 時：平成21年11月15日（日）13：30～講演開始
- 会 場：ホテルクラウンパレス甲府（100名～300名程度まで可能）
- 講 師：石 黒 友 康 先生（健康科学大学） ● テーマ：メタボリックシンドロームの運動療法

## 第13回学術集会事業予定

- 日 時：平成21年12月13日（日）10：00～ ● 会 場：ホテルクラウンパレス甲府
- 講 師：沖 田 実 先生（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
- テーマ：「骨格筋の変化からみた関節可動域制限の病態」
- 一般演題発表：（コンピュータープレゼンテーションによる口述発表）

### ◆託児室について

- 開設時間：平成21年12月13日（日）9：30～16：00
- 対象年齢：0歳～小学校低学年 ○ 定 員：同一時間帯約10名程度
- 保育料金：半日を1単位とし、一人1単位あたり500円（保険料込み）
- 食 事：別途料金にて昼食、おやつ付（アレルギー除去食など適宜相談に応じます）
- 申込方法：平成21年11月15日までに、下記必要事項を記入の上、学術集会部へ e-mail にてお申し込みください（件名に「託児室申し込み」と記載下さい）。確認後、正式な利用書類をお送り致します。

※託児室にお申し込み後、一週間以内に受理のお知らせがない場合は、お手数ですが下記電話番号に御連絡下さい。

#### 必要事項（託児室）

- ① 申込者名、所属（施設名、自宅会員）
- ② 連絡先住所、TEL、e-mail
- ③ お子様の年齢と人数
- ④ その他、ご要望等

#### ●お申し込み・問い合わせ先

〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松 855  
山梨リハビリテーション病院 理学療法課  
学術集会部 菊池 信、清水一彦  
Tel:0553-26-3030 Fax:0553-26-4569  
e-mail:gakkaibu.yamanashi@gmail.com

お知らせ

## 高齢者権利擁護等(身体拘束廃止や虐待対応等)の勉強会のお知らせ

山梨県理学療法士会では、社会福祉協議会主催の「身体拘束廃止推進事業」に相談員を登録して派遣事業等に参加しています。この事業は、理学療法士だけでなく看護師や介護福祉士などの他職種の相談員が一緒に関わっています。

今年度より興味関心がある方は誰でも参加できるようになりましたので、紹介させていただきます。内容は、身体拘束や虐待対応についての情報交換が中心ですが、介護福祉施設で働く職員のお悩み相談所のような感じにもなるときもあります。

介護福祉施設で働いている理学療法士の先生方も増えてきています。施設を超えた他職種の方々と情報交換を行い、普段は滅多に聞けない興味深いのはなしの場となればと考えております。士会員の皆様方には、奮ってと参加いただきたくご案内いたします。

- 会 場：山梨県福祉プラザ 4階 中会議室
  - 日 時：平成21年 9月17日(木) 14時～16時  
11月19日(木) 14時～16時  
平成22年 1月21日(木) 14時～16時  
3月11日(木) 14時～16時
- 興味ある方、参加されたい方がいましたら、  
委託事業部 小林(あけぼの)  
TEL：0551-22-6112  
FAX：0551-22-6184まで、  
ご連絡ください。

## 編集後記

いつもご愛読ありがとうございます。supporters も本年2号目の発行となりました。

私たち会報部も、夏の高校球児に負けないよう熱い会報誌を目指し、日々編集に取り組んでまいりました。おかげ様で無事 supporters 秋号を皆様の元へ、お届けすることができました。

今号の特集としまして、「平成21年度新人理学療法士紹介」を掲載いたしました。本年度も58名と多くの新入会員がおり、交流会での皆さんのパフォーマンスには、明日の山梨県士会を支えていく大きな原動力を感じられました。この一人一人の顔写真やコメントからも、溢れんばかりのパワー！溢れすぎてしまっている個性(!?)が伝わってきます。

また、今回の協会賞を受賞された石原正文先生をはじめ、学術研修会としてイントロダクションを行ってくださった先生方や多くの諸先輩方の活動・功績が今の士会を築き上げていることも、「supporters」で伝えていければと考えております。

これからも、会員の皆様一人一人の声が聞こえてくるような会報誌にしていきたいと考えています。今後も広報部の活動にご協力お願いいたします。  
(水上 卓)

- 発 行 ● 山梨県理学療法士会
- 代 表 ● 谷村 英四郎
- 企画・校正 ● 清水 文彦 清水 真治 水上 卓 中込 恵美
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● 〒406-0023 山梨県笛吹市石和町八田 330-5

石和温泉病院 理学療法室内

Tel 055-263-0111(代) Fax 055-263-0260 E-mail sinji0012312@yahoo.co.jp